

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。

(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人の関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。

関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名

グループホーム上の茶屋

(ユニット名)

桔梗(ききょう)

記入者(管理者)

安部 直子

氏名

石川 真也

評価完了日

平成 19 年 8 月 27 日

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<p>(自己評価)</p> <p>職員全員でその人らしく暮らし続けることを考え、理念を作り上げた。</p> <p>(外部評価)</p> <p>職員全員で「いつも笑顔で穏やかな暮らし」という理念を作りあげ、利用者個々が穏やかに暮らせることを目指し、取り組んでおられる。</p>		<p>地域密着型サービスの点を考え、もう一度理念を考えていきたい。</p> <p>今後、さらに「地域密着型サービス」として事業所が目指すことを理念に加えていかれることを検討されていた。</p>
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	<p>(自己評価)</p> <p>職員は毎朝理念を唱和し、入居者中心のケアができるようにしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>理念を念頭におき、その人の立場に立つケアを職員全員が心がけておられた。又、各ユニットでの理念の掲示や朝礼時、職員が集まり理念を唱和され、共有に努めておられる。</p>		<p>今後も続けていきたい。</p>
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	<p>(自己評価)</p> <p>ホーム便りやパンフレットを地域の人に配ったりしている。家族や見学の方にも、理念を説明している。</p>		<p>町内の会合、イベントなど参加しているが、その時にも、理念を理解してもらえよう取り組みたい。</p>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 日常的に散歩に出かけ、挨拶を交わし、声を掛けてくださる。		近隣の人たちをホームに招待し、気軽にお茶などを飲んでもらえるよう、お付き合いをしていきたい。
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 校区の運動会、文化祭などに参加し、地域の人々と交流することに努めている。 (外部評価) 法人で自治会に加入され、地域の一員として交流に努めておられる。月1回行われる地域のふれあいサロンに利用者が参加されている。地域の運動会や文化祭へ参加されている。ご近所の方が大正琴を演奏に来訪してくださっている。		地域交流の幅を 事業所では、すべての利用者が地域の方達と交流できるよう支援していきたいと考えておられる。又、老人会への参加もすすめていきたいと考えておられた。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 運営推進会議を開き、ホームでの様子など話し合っているが、学習会など行っていない。		今後は認知症について、より理解を深めてもらえるよう学習会など開きたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 自己評価は全員で取り組み、外部評価の結果を踏まえ、改善できるよう努めている。 (外部評価) 自己評価は、朝礼時、職員が集まる際や全体会議時等で職員全員の意見を聞き、管理者がまとめられた。自己評価作成時、職員は、利用者への言葉かけが適切でない時があったりするのではないかと日々を振り返られた。 前回の評価結果を受けて、利用者の身体機能に合わせて浴室や居室に手すりを設置された。		今後も積極的に取り組みたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)		
			運営推進会議では、報告にとどまらず、そこで意見をもらい、スタッフで話し合い、サービス向上に生かすようにしている。		運営推進会議の方法も、参加者を増やすよう働きかけ、色々な率直な意見をもらいたい。
			(外部評価)		
			地域の方より「認知症とはどういうものか？」ということについて話をしたいという意見等もあり、実行できるようすすめておられる。又、ご夫婦で利用されている方の暮らしぶりについて紹介をされた。		今後、ご家族や地域の方等、いろいろな方に参加してもらえるように呼びかけていきたいと考えておられた。
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価)		
			運営推進会議以外、特に交流を図っていない。		今後行き来する機会を増やし、他数の職員と交流を持ちたい。
			(外部評価)		
			成年後見制度について、市と相談されたり、利用者の退居先や入居時の相談等をされている。		今後、介護相談員の受け入れを通じて、市とさらに連携を図っていきたいと考えておられた。
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価)		
			研修の機会があれば、積極的に参加している。		多数の職員が理解できるよう学習したい。
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			虐待防止について学ぶようにしているが、広い意味で学習が少なく、不足している。		学習する機会を持ち、虐待防止に関する理解を深めていきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時に重要事項の説明をし、納得していただき、契約をしている。		今後も十分な説明を行いたい。
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 利用者の不満を解消できるよう努めているが、外部からの相談員などは来てもらっていない。		外部からの相談員の訪問も取り入れていきたい。
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 家族が面会に来られた時は、日々の状況を報告し、個々に合わせた報告ができています。		
			(外部評価) ご家族の来訪時に、暮らしぶりや医師からの報告や職員移動について報告している。又、月1回写真入りのホーム便りを送付して、利用者の生活の様子を定期的に報告されている。		
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 意見箱を設置しているが、あまり利用されていない。面会時には、話しやすい雰囲気作りに努めている。		家族が意見を出しやすい雰囲気作りを心がけ、全員参加できるように考えていきたい。
			(外部評価) 家族会は行事に合わせて開催されており、利用者が転倒・骨折した際や体調不良時の事業所の対応について等、ご家族の不安ごとについて説明をされている。		さらに、今後、家族会について、ご家族個々とゆっくり話し合いができるような会議にしたいと考えておられた。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 職員の意見や提案を聞くよう心がけ、反映させるようにしているが、実現には難しいこともある。		全体会では言い難いこともある為、個別面談等により多く意見を引き出せるようにしたい。
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 勤務シフトは日中一人一人のニーズに対応できるよう職員を確保しており、職員の急な休みの時も応援してもらえる。		状況に応じ、柔軟な対応をしていきたい。
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 基本的に各ユニットの職員は固定されており、利用者や家族とのなじみの関係ができています。		馴れ合いとの区別に配慮し、ケアに取り組みたい。
			(外部評価) ほとんどの職員は、開設時から変わりなく利用者や馴染みの関係構築を築いておられる。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 事業所外での研修にはなるべく多くの職員が受講できるようにし、全体会で発表し、共有するよう努めている。		職員が積極的に研修参加する意欲を引き出していきたい。
			(外部評価) 職員が、外部研修に積極的に参加できるよう法人でも配慮をされている。研修受講後、報告書を作成し事業所の全体会で報告されている。職員は、苦情解決や介護予防体操の研修を受け、実践に活かしておられる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			グループホームの各研修や相互研修で交流を持ち、サービスの質の向上に繋げている。		他の事業所と交流することにより、少しでも成長できることを望みたい。
			(外部評価)		
			市内のグループホームの管理者同士の交流を図っておられ、記録類の記入方法等についても意見交換等がされた。		さらに、今後、職員の相互研修等を通じ、ネットワーク作りをすすめていきたいと考えておられた。
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			運営者は、管理者や職員のストレスを軽減する為の理解ができていない。気分転換できる休憩室といったものもない。		勤務時間中に気分転換できる休憩室を確保していきたい。
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			全員の把握はできていないが、取り組みはされている。		運営者はなるべく現場に足を運び、職員個々の話や利用者とお話すよう努めていく。
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			相談から利用までの間に本人に会い話を聞くが、家族からの情報が多い。入所前に体験してもらい、本人と接する機会を増やし、不安を理解しようと努めている。		今後も家族との信頼関係を図り、その人を知ろうと努力したい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 相談時から家族の困っていることなどはよく聞き、事業所としては、どのような対応ができるのか話し合いをしている。		引き続き努力したい。
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 本人や家族から相談を受けた時には、状況を確認し、できる限りの対応に努めている。		引き続き努力したい。
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 本人やご家族に見学して頂き、又、1日体験などで雰囲気徐徐になじんでもらえるように工夫している。 (外部評価) 入居間もないころは、ご家族に頻繁に来訪していただく等、ご家族にも協力を得ながら利用者が事業所に馴染めるよう取り組まれている。		体験してもらい、本人が納得した上でサービスの利用ができるよう努めたい。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 利用者は人生の先輩であるという考えを共有しており、利用者に教わる場面を持つよう、声かけなどを工夫するよう努めている。 (外部評価) 利用者が、悲しい時には、職員が寄り添い、安心できるよう声をかけられたり、眠れない時には、ゆっくりとお話を聴くようにされている。		支援する側、される側という意識を持たないケアに取り組んでいきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 家族によって、状況が異なっている。 家族と職員の思いが、少し違っている所もある。		職員は家族の思いを聞く機会を増やし、情報の共有に努め、共に支える関係を作っていきたい。
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 外出や外泊で家族と一緒に過ごすことを勧めたり、行事に誘ったりしているが、家族により状況が異なっている。		事業所での暮らしや介護にも家族が関われる機会を作っていきたい。
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) なじみの関係が途切れないよう一人一人の生活習慣を尊重している。		今後も継続的な交流ができるよう努めたい。
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 利用者同士の関係に配慮し、個々に話を聞いたり、職員が橋渡し役となっている。		利用者同士の関係がうまくいかない時の対応が円滑に進むよう努めたい。
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 家族の方から相談があれば、話を聞き、支援に応じているが、こちらからは積極的に取り組んでいない。		それぞれの家族の方の状況に応じた支援、関係を大切にしていきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			言葉や表情などから思いを察し、それとなく確認するが、まだまだ不十分である。		職員が一人一人の思いを把握できるよう努め、行動を共にし、理解を深めていきたい。
			(外部評価)		
			日頃の暮らしの中での利用者の言葉を記録されている。		さらに、意思表示のむつかしいような方についても日々のかかわりの中から把握に努めていきたいと考えられた。
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			入居時、本人や家族から聞き取りをし、日常生活の中でもこれまでの暮らしが把握できるよう努めている。		プライバシーに配慮し、情報収集に努めたい。
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			一人一人の生活リズムを理解し、少しの変化に気づけるよう努めている。		視野を広げ、利用者一人一人可能性を発見するよう努めたい。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			本人、家族から希望を聞いているが、カンファレンスには参加していない。日々に関わりの中から計画している。		利用者本位の介護計画になるよう、カンファレンスに家族も参加してもらえるよう努めたい。
			(外部評価)		
			担当者が作成した介護計画を月1回のユニット会議時、職員全員で検討されている。医師の意見も反映しながら計画を作成されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)			
				利用者の変化に応じたミーティングを行い、見直しているが、記録としては不十分である。		家族との話し合いも不十分な所もあり、連絡を密にとっていく必要がある。
			(外部評価)			
					3、6カ月の定期的な見直しと利用者の状態に応じて随時見直しを行ってられる。	
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)			
				個々の生活記録に記載し、職員間の情報共有ができています。		くり返し伝達し、細かな点まではっきりする必要がある。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援						
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)			
				必要時、本人や家族と相談し、他の事業所へ紹介する等している。		その都度状況が変われば本人や家族と話し、その人らしく暮らしていける場所を提供していくよう支援する。
			(外部評価)			
					利用者が針、マッサージに通われる際の送迎や散髪に出かける際の送迎等、利用者の希望やご家族のご都合に合わせて支援されている。	

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 地域の人たちより慰問があり、中高生のボランティアも行っている。		保育園や小学生達の訪問も協力を呼びかけていきたい。
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 必要に応じ、地域のケアマネジャーと話をしたが、他のサービスを利用するに至っていない。		他のサービスを利用する必要があるれば、ケアマネジャーと相談し、利用に向け、支援していく。
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 運営推進会議に地域包括支援センターからも参加されており、情報交換を行っている。		
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 本人や家族が希望するかかりつけ医となっている。家族同行の受診が可能であれば行ってもらい、不可能な時は職員が行っている。		
			(外部評価) ご本人やご家族の希望するかかりつけ医で受診できるよう支援されている。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) ホームのかかりつけの医療機関があり、定期的に往診もある。心配事があればその都度相談ができる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) ホームには、看護職員はいないが、併設している事業所の看護職員に日頃から相談したり、訪問したりしてもらっている。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 本人に安心して頂けるよう、職員が様子を見に行ったり、家族や医療機関とも情報交換をしている。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 重度化した場合、本人や家族やかかりつけ医と話し合い、本人にとってどうあったらよいか検討している。		重度化や終末期のあり方について話し合っているが、関係者全体の方針の統一を図っていきたい。
			(外部評価) 終末期、重度化した場合について、事業所の方針に基づき、すべてのご家族と相談や話し合いをされている。		さらに、今後、看護師資格を有する職員の配置等、看取りの体制作りについても検討をしていきたいと考えておられた。
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 変化があるたびに職員間でも話し合い、医療機関にも連携を図り、対応している。		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 入院されたり、他の事業所へ移られた場合は、アセスメント、ケアプラン、サマリー等手渡し、情報交換も行っている。		情報交換を行っているが、移られた後のフォローがあまりできていない。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>					
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>					
<p>(1) 一人ひとりの尊重</p>					
50	20	<p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>(自己評価) よかれと思っている言葉が、本人を傷つけてしまうことがある。</p> <p>(外部評価) 職員が利用者の居室に入室する際には、必ずご本人に声をかけるようにされている。排泄の誘導等の声かけ時等で配慮の必要な場面もあるようだが、職員会で話し合う等、改善に努めておられる。</p>		<p>本人の主観を大切にし、プライバシーの確保について、全職員が意識向上を図っていききたい。</p> <p>さらに、今後も職員の気づき等を持ち寄り、利用者への対応について話し合うような機会を増やしていかれることが期待される。</p>
51		<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>(自己評価) 利用者が自分で決める場面を作ったり、希望を聞き、納得してもらえよう支援している。</p>		
52	21	<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>(自己評価) 基本的に一日の流れを持っているが、一人一人自由な時間を過ごして頂いている。</p> <p>(外部評価) 新聞を読んだり、近所の自動販売機にジュースを買いに行ったり、散歩に出かける方もおられる。ユニット間の職員が協力し合い、利用者それぞれのペースや要望に応じ支援されている。</p>		<p>一人一人の気持ちを尊重し、できるだけ個別性のある支援を行っていききたい。</p>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 理美容院で行きつけのある方は行ってもらい、化粧も従来通りされている。時に職員と一緒に考え、本人の意向で決定している。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 職員と一緒に食事を楽しんでもらい、その時の状態に応じてできることをしてもらっている。 (外部評価) 業者の配食サービスを利用されている。月に数日は、事業所で手作りの日を設けておられ、調査訪問時、利用者がエプロンをつけて職員と料理をされていた。利用者の誕生日等は、ご本人の希望を聞きお寿司等を作っておられる。		
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 現在、お酒、たばこを希望される方はいない。おやつ等健康管理上控えなければいけない人には調整している。		一人一人の好みや意向を大切に、取り組んでいきたい。
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 本人の訴えや個々に合わせ、トイレ誘導することで、排泄を促している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			毎日入浴できる体制にしており、できる限り希望する時に入浴してもらえるよう支援している。異性の職員にも配慮している。		こちらのペースにならないよう、一人一人の希望を大切に、支援していく。
			(外部評価)		
			ご夫婦で入浴される場合もある。入浴を拒まれる方へは、ご家族や医師にも声かけの協力をいただくこともある。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			一人一人の状態に応じ、その都度対応できるよう支援している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			一人一人の力を発揮してもらえるよう、利用者のレベルに合わせて支援し、感謝の言葉を伝えている。		
			(外部評価)		
			畑仕事や読書、編み物が趣味の方がおられ、野菜を収穫したり、事業所で使用する雑巾を縫ってもらっている。職員は、感謝の言葉を伝えておられる。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			原則お金は事業所が管理しているが、一人一人の希望や力に応じて、使えることができ、少額所持してもらっている方は、本人が支払いされている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			その日の気分や希望に応じ、なじみの店や場所に出かけたり、戸外に出て外食する機会がある。		一人一人が外食を楽しんでもらえる支援に取り組んでいきたい。
			(外部評価)		
			事業所近くの遊歩道を散歩されたり、近所の方と立ち話をすることを楽しみに戸外に出られる方もおられる。外食の際に、利用者の希望のメニューを選んでもらえるようにされている。		
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			家族への働きかけはしているが、実現には難しいところもある。		なかなか希望に添えないこともあるが、実現に向け努力していきたい。
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			要望があれば家族に電話したり、手紙を出せるように支援している。		一人一人の状態に応じ、外部との交流を支援していく。
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			面会時間は決めておらず、ご家族の都合にいい時間に来て頂けるよう配慮している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 申し送り等で、自覚しない身体拘束が行われていないか確認し、職員の共有認識を図っている。		疑問に思う時は、お互いの気付いたことを話し合い、注意できるよう取り組みたい。
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 利用者が外出しそうな様子を察知したら、止めたりせず、さりげなく声かけし、一緒について行く等し、穏やかに暮らせるよう取り組んでいる。		
			(外部評価) 玄関に音や光を感知するセンサーを設置し、利用者が自由に出入りできる暮らしを支援されている。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 職員は利用者と同じ空間で記録等の作業を行い、さりげなく一人一人の状況が把握できるよう目配り、気配りをしている。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 一人一人の状況に応じ、保管管理をしている。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 服薬時には、確実に服薬できるよう見届け、確認している。万が一の場合にはヒヤリハットに記録し、今後の予防対策を検討している。		一人一人様々なケースを考え、全職員が意識統一し、事故防止に繋げたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 実施しているが、定期的でなく、全ての職員が対応するには不十分であり、偏りがある。		勉強会等、定期的に行い、全ての職員が対応できるよう取り組んでいきたい。
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 定期的に防災訓練を実施しているが、地域住民の参加・協力はできていない。 (外部評価) 車イスを使用されている利用者を誘導する職員を決めたり、消火器の使い方も利用者とともに練習されている。又、地域に防災組織があり、自治会長より連絡がまわるようになっている。		今後は地域住民の参加・協力を得て、訓練実施に取り組めるよう努めたい。 今後、夜間や地震時の避難訓練も行っていきたいと考えておられた。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価) 事前に家族に説明し、自由な暮らしの大切さと、事業所の取り組みを説明し、理解を得るよう努めている。		状況の変化に応じ、個別的に見直し、検討していく。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 一人一人の様子の変化に注意し、状況に応じ、バイタルチェックをし、記録に残している。		全職員が意識統一し、些細な表情や変化を見逃さぬよう取り組んでいきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		<p>服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>一人一人の薬の副作用までは把握できておらず、不十分である。</p>		<p>薬に関する知識を深めていき、理解するよう努めたい。</p>
75		<p>便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>かかりつけ医に相談し、必要であれば服薬して頂き、身体を動かすよう働きかけたり、状態に応じ、腹部マッサージを行っている。</p>		
76		<p>口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>全員が毎食後ではないが、個々の生活習慣を踏まえ支援し、就寝前は義歯洗浄を行っている。</p>		
77	28	<p>栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>食事量の記録をし、職員間で共有しており、水分量のチェックを行い把握できている。</p>		<p>利用者一人一人が必要な食事や水分が摂れるように支援していく。</p>
			<p>(外部評価)</p> <p>食事中に職員は、利用者の食事がすすむよう声掛けをされている。水分摂取もすすめておられ、熱いお茶や冷たいもの等が選べるようにされていた。</p>		
78		<p>感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>(自己評価)</p> <p>職員共にインフルエンザの予防接種を受けており、ノロウイルス対策として、ペーパータオルを使用する等、予防に取り組んでいる。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>まな板やふきん等を漂白し、清潔を心がけている。冷蔵庫も点検・掃除し、職員同士で声かけ・確認を行っている。</p>		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1)居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>花を生けたり、生き物を飼う等、和やかな雰囲気になるよう親しみやすくなっている。</p>		
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>物的な環境にも気を配り、壁面の飾り付けも、家庭的な雰囲気を壊さぬようにしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>日当たりの良いウッドデッキがあり、自由に出入りできるようになっている。又、季節の花が飾られていたり、カメを飼っておられた。</p>		<p>より利用者が住みやすく、居心地の良い空間になるよう、利用者と共に考えていきたい。</p>
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>イスやソファの位置にも気を配り、共有スペースを思い思いに活用できている。</p>		<p>なじみの物を増やしたり、より個別性を大切にしたい空間を作っていきたい。</p>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			それぞれのなじみの物など、生活習慣に合った物が置かれている。		カーテン等細かな点にも気を配り、より自分らしい空間になるよう、家族にも協力を得たい。
			(外部評価)		
			利用者の居室には、ご家族の写真や絵、位牌、タンス等が持ち込まれている。ご夫婦でゆっくり過ごすことができるようなしつらえも工夫をされていた。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			使用済みの尿とりパット等は、新聞紙にくるみ、臭いの軽減に心がけている。また、換気や温度調節にも配慮している。		利用者一人一人の状態に配慮し、偏りがないう工夫していきたい。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			各所に手すりが付いており、自立を促しやすい環境になっている。居室内にも手すりが設置されている所がある。		ハード面で難しいこともあるが、個々の状況に応じ、自立を意識した工夫をしていきたい。
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			その都度状態の変化に応じ、職員が声かけフォローできている。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			敷地内に畑のスペースを確保したり、洗濯干しや日光浴ができる。		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ③利用者の1/3くらいが	具体的に思いを伝える人は少なく、表情等から察知しても、本当の思いを掴んでいるとは言い難い。
89	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ①毎日ある	食事や間食は職員も同席し、世間話を楽しんでいる。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が	一人一人の思い思いのペースで過ごせていると思う。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが	声かけや関わり方により、変化があり、笑顔が見えるよう努力している。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが	一人一人の状態に応じ、範囲は異なるが、自由にできている。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ③利用者の1/3くらいが	利用者は少なからず不安はあると思うが、声かけや接し方で努力している。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが	その時々状況に応じ、支援し、一人一人の世界を大切にしている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (自己評価) ②家族の2/3くらいと	面会時、家族から話を伺うよう心がけている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ③たまに	なじみの人等面会がたまにある。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元 の関係者とのつながりが広がったり深ま り、事業所の理解者や応援者が増えてい る (自己 評価) ② ① 大いに増えている ② 少しずつ増えている ③ あまり増えていない ④ 全くいない	運営推進会議で情報交換もできており、徐々に深まっていると思う。
98	職員は、生き活きと働けている (自己 評価) ② ① ほぼ全ての職員が ② 職員の2/3くらいが ③ 職員の1/3くらいが ④ ほとんどいない	笑顔が見えるよう努めている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおお むね満足していると思う (自己 評価) ③ ① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	いい表情をしてくださるが、満足には至っていないと思う。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービ スにおおむね満足していると思う (自己 評価) ② ① ほぼ全ての家族等が ② 家族等の2/3くらいが ③ 家族等の1/3くらいが ④ ほとんどできていない	満足はして下さっていると思うが、より質向上するよう努めている。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

「いつも笑顔で穏やかな暮らし」を理念に掲げ、職員一同それに心がけ、ケアに取り組んでいます。
 その日によって利用者の方にも変化がありますが、常に一人一人の立場で感じていきたい。